

ICT を活用した授業づくり～学習効果を高める授業の工夫～

6th Grade Lesson6 “What time do you get up?”

Sinden Elementary School

○Topic(題材) What time do you get up ?

○Aims(めあて)①積極的に自分の1日を紹介したり、友達の1日を聞き取ったりしようとする。

②生活を表す表現や、1日の生活についての時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。

③世界には時差があることに気付き、世界の様子に興味を持つ。

○Preparation(準備物) 教師：ワークシート PC TV (50インチ) Hi, friends!2 デジタル教材

○ICT活用の目的, 期待される ICT 活用の学習効果

・学習意欲の喚起 ・集中力の向上 ・学習内容の明確化 ・授業の効率化

過程	児童の活動	ALT・HRTの活動 ※太字はICT活用場面	指導上の留意点
あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ○日付・曜日・天気の確認をする。 ○あいさつをする。 	<p>A: 「What's date today?」</p> <p>S: 「It's January 16th」</p> <p>A: 「What's day today?」</p> <p>S: 「It's Friday.」</p> <p>A: 「What's the wether like today?」</p> <p>S: 「It's Sunny.」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>A: ALT H: HRT S: student</p> </div>	<p>明るく元気にあいさつをして、楽しい雰囲気を作るようにする。</p>
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○Let's Chant What time do you get up? 	<p>チャンツは Hi, friends!2 デジタル教材を活用。児童と一緒に活動し、「OK!」「Good!」などと声をかけ楽しい雰囲気作りをする。</p>	<p>TVを見ながら、リズムに合わせて言う。</p>
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○Number game Don't say 60 game をする ○Let's Listen ② ・ヒアリングし、テキストブックに答え(時刻)を記入する。 ○Activity ① ・ALTの一日を予想してテキストブックに答え(時刻)を記入する。 ・What time do you~?の言い方を練習する。 ○Activity② インタビューゲーム ・自分の生活時刻を紹介したり、友達的生活時刻を聞き取ったりする。 	<p>H:ゲームのやり方を説明する。</p> <p>H:児童のDemonstrationを交えながらやり方を確認する。</p> <p>全文は Hi, friends!2 デジタル教材の音声資料を活用。</p> <p>次に文章ごと区切ってALTが読む。</p> <p>Hi, friends!2 デジタル教材の映像資料を活用。</p> <p>H:問題の答え方を説明する。</p> <p>H: What time do you~?</p> <p>A:I ~ at○○・</p> <p>Hi, friends!2 デジタル教材の映像資料を活用し作成したワークシートを配付。</p> <p>AH: Demonstration</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ What time do you get up? ・ I get up at ○○. ・ What time do you go to school? ・ I go to school at ○○. ・ What time do you go to bed? ・ I go to bed at ○○. 	<p>児童は円くなって座らせる。</p> <p>必ずお互いに聞き合うようにする。</p>
あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ○終わりのあいさつをする。 Good bye teacher. See you! 		

○成果と課題

「デジタル教材」と「ALT」は、ともに児童にとって学習内容をより魅力的なものとする効果があり、期待された学習意欲や集中力の向上の他、メインの活動である Activity②「インタビューゲーム」で、主体的に活動する児童の姿を見ることができた。

一方で、HRT が ICT 機器の使用に熟練していないことと、PC を使った操作だったため授業のリズムが崩れてしまい、「効率的な授業」を十分に実現することができなかった。

ICT 機器の使用にもっと熟練が必要であるとともに、タブレット端末もしくは電子黒板で Hi, friends!2 デジタル教材が使用できるようになれば、全ての教師にとってより使いやすく、効果的な授業への活用がはかれるのではと感じた。